



東南おきたま 雪若丸だより

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動 置賜地域本部 置賜農業技術普及課

有効茎数確保⇒速やかに中干し・作溝！
茎数が不足⇒浅水管理や水交換を実施し、補完追肥！

1 「雪若丸」の生育状況 (6月20日現在)

有効茎数を確保した圃場から、速やかに中干し・作溝を行いましょ。一方で、移植時期が遅れた場合や深水管理の場合など、茎数が不足し葉色が上がっていない圃場が見受けられます。現時点で茎数が不足している圃場では、補完追肥を行い(下の2(2)参照)、生育量を確保しましょ。

「雪若丸」調査ほ場の生育状況

	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	備考
高畠町	35.1	490	9.0	48.4	5/16 移植
米沢市	39.2	598	8.5	47.5	5/17 移植
川西町	32.3	262	7.8	40.5	5/27 移植
指 標	32.0	460	8.1	43.0	

2 今後の技術対策

(1) 順調に生育量を確保している場合

- 有効茎数(560本/m²)の8割(448本/m²)を確保したほ場から速やかに作溝・中干しを行い、無効分けつの発生を抑制します。
- 「雪若丸」は幼穂形成期まで葉色を40未満に低下させないように管理することが大切です。水管理や中干しで適正な茎数、葉色となるように生育管理を行いましょ。

茎数と葉色の目安(指標値)

	6月10日	6月20日	6月30日
m ² 当たり茎数(本/m ²)	240	460	590
1株当たり茎数(本/株、70株/坪)	12	22	30
葉色(SPAD)	37	43	43

(2) 生育(茎数)不足の場合

- 現時点で生育量が不足している場合(茎数300本/m²以下、葉色40以下)は、減収となる可能性が高くなるため、窒素成分量1kg/10a程度を補完施用し生育量を確保します。

※補完施用した場合は、穂肥時の追肥量を減肥します。

農作業事故と熱中症に要注意！ こまめな休憩と水分・塩分補給。